

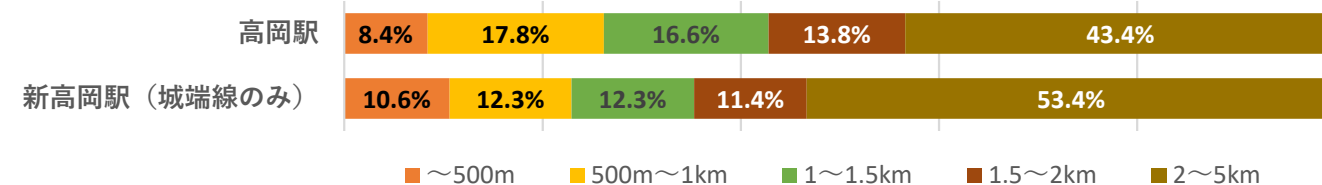
○実施概要

【調査概要】 駅・電停の利用者の属性・時間帯・居住地を分析して利用特性等を把握する
 【分析データ】 KLA（KDDI Location Analyzer）データ（KDDI 社の利用データ）
 【分析対象者】 高岡市民（20 歳以上）
 ※KLA のデータは 10 代のデータを抽出できないため、高校生等は集計に含まれていない
 【抽出期間】 2021 年 12 月 1 日～2022 年 11 月 30 日（最大期間）
 【抽出時間帯】 5 時～29 時
 【集計方法】 全人口推計（日ユニーク）
 【抽出対象施設】 市内の全駅（13 駅）、全電停（25 電停）
 ※本調査における利用者数とは、ビッグデータにおいて駅を利用したと想定される人数を指すものとする。

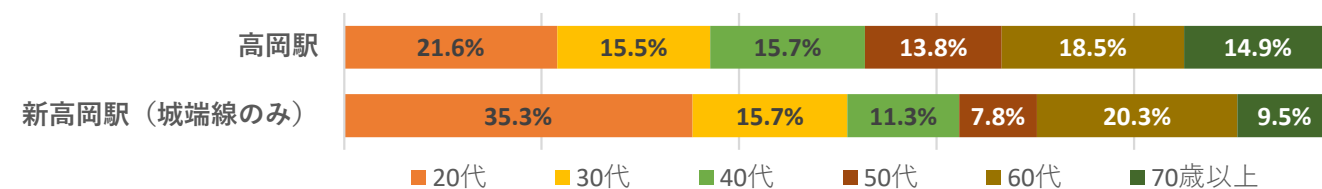
○地域交通拠点としての鉄道駅の利用特性 ※乗車駅別駅勢圏（高岡駅・新高岡駅（城端線のみ）（駅 5km 圏内居住者））

【利用特性】
 ■ 両駅ともに 2～5km 圏内の割合が高く、市内各所から利用されていると考えられる。
 ■ 新高岡駅利用者は 20～40 代が 6 割を占めている一方で、高岡駅は年齢層に大きな偏りはなく、幅広い年齢層に利用されている。
 ■ 5～8 時、17～20 時の利用（＝通勤時間帯）割合が高いものの、日中の割合も多く、多様な目的での利用が見受けられる。

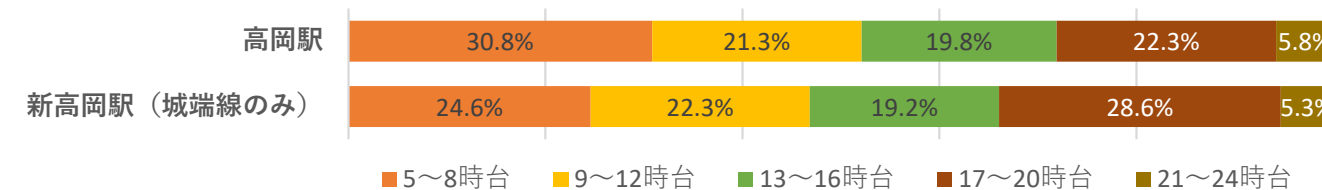
■鉄道駅別利用圏域内の利用者分布



■地域交流拠点・鉄道駅別利用者の年齢構成



■地域交通拠点・鉄道駅利用時間帯の割合

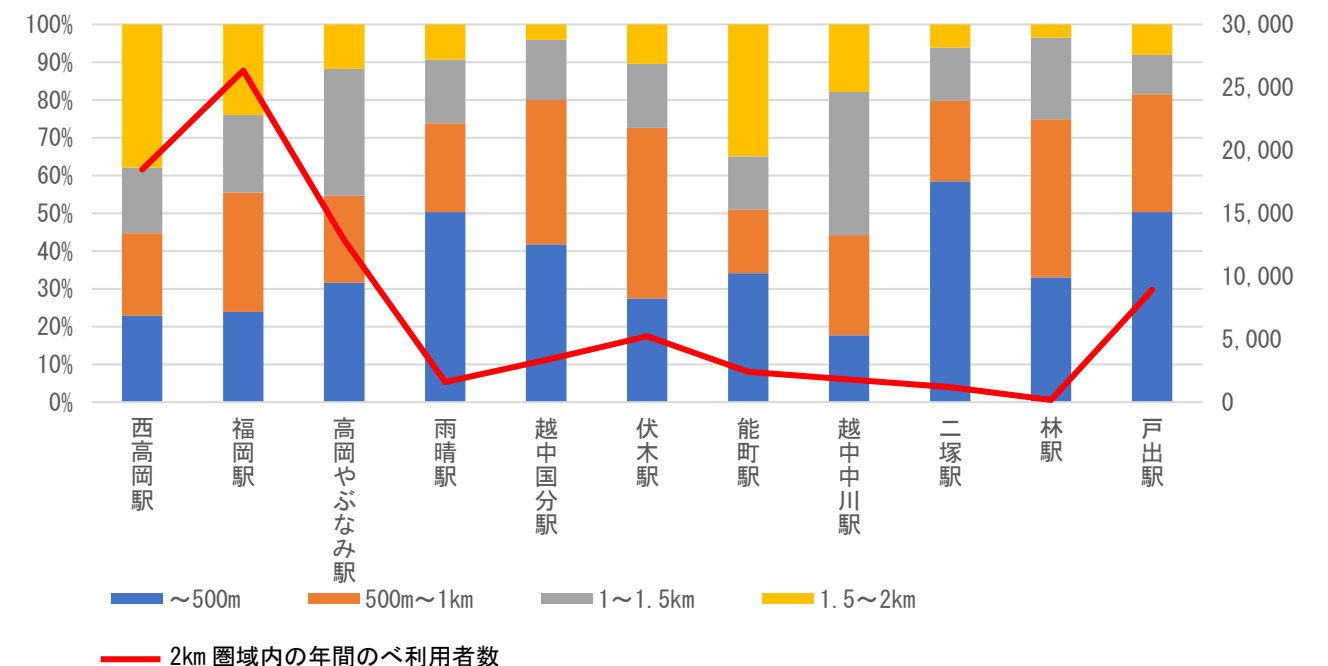


○日常生活拠点としての鉄道駅の利用特性 ※乗車駅別駅勢圏（高岡駅・新高岡駅以外（駅 2km 圏内居住者））

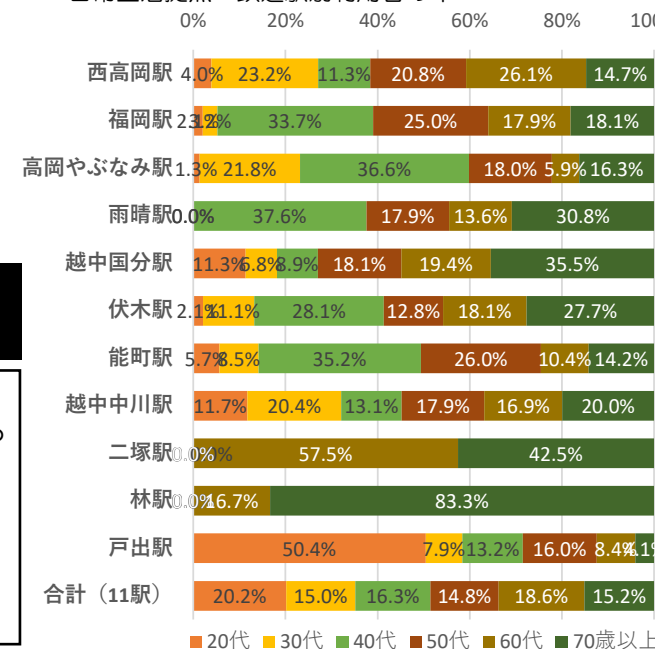
【利用特性】
 ■ 鉄道駅全体では 20 代～50 代の利用が 66%と 3 分の 2 を占めており、5 時～8 時台の利用が 30% となっている。
 ⇒ 鉄道利用全体としては通勤利用が中心となっていることが想定される。
 ■ 1km 以内の範囲に利用が集中している駅（雨晴駅、越中国分駅、伏木駅、二塚駅、林駅、戸出駅）については、戸出駅を除く駅で 60 代以上の利用が概ね 45%以上となっている。
 ⇒ 高齢者利用が主体と想定される。

■鉄道駅別利用圏域内の利用者分布

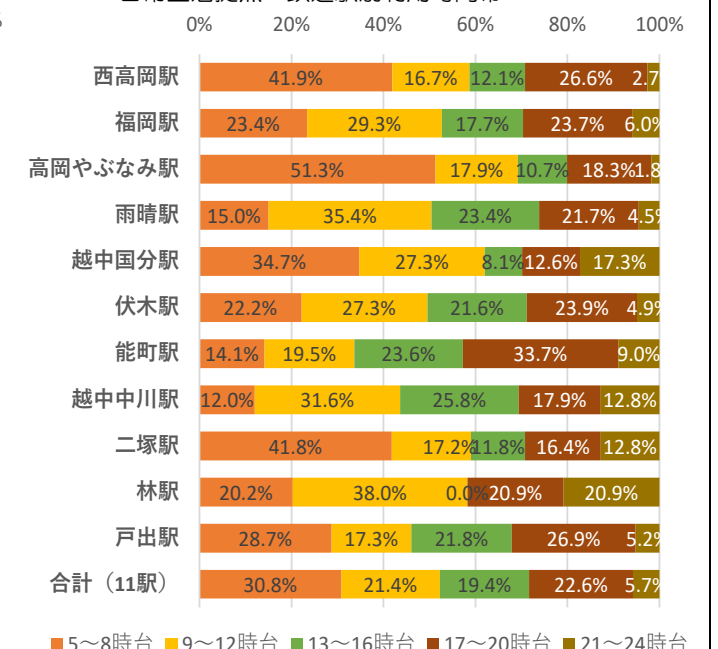
	2km圏域内の 年間のべ利用者数	利用圏域内の利用者分布			
		～500m	500m～1km	1～1.5km	1.5～2km
西高岡駅	18,480	22.9%	21.9%	17.4%	37.9%
福岡駅	26,336	23.9%	31.6%	20.5%	24.0%
高岡やぶなみ駅	12,897	31.6%	23.1%	33.6%	11.8%
雨晴駅	1,582	50.3%	23.5%	16.9%	9.3%
越中国分駅	3,351	41.8%	38.2%	15.9%	4.1%
伏木駅	5,230	27.4%	45.2%	17.0%	10.4%
能町駅	2,415	34.1%	16.8%	14.2%	34.9%
越中中川駅	1,809	17.7%	26.6%	37.9%	17.9%
二塚駅	1,180	58.5%	21.2%	14.2%	6.1%
林駅	173	33.0%	41.9%	21.6%	3.5%
戸出駅	8,929	50.3%	31.2%	10.4%	8.1%



■日常生活拠点・鉄道駅別利用者の年



■日常生活拠点・鉄道駅別利用時間帯



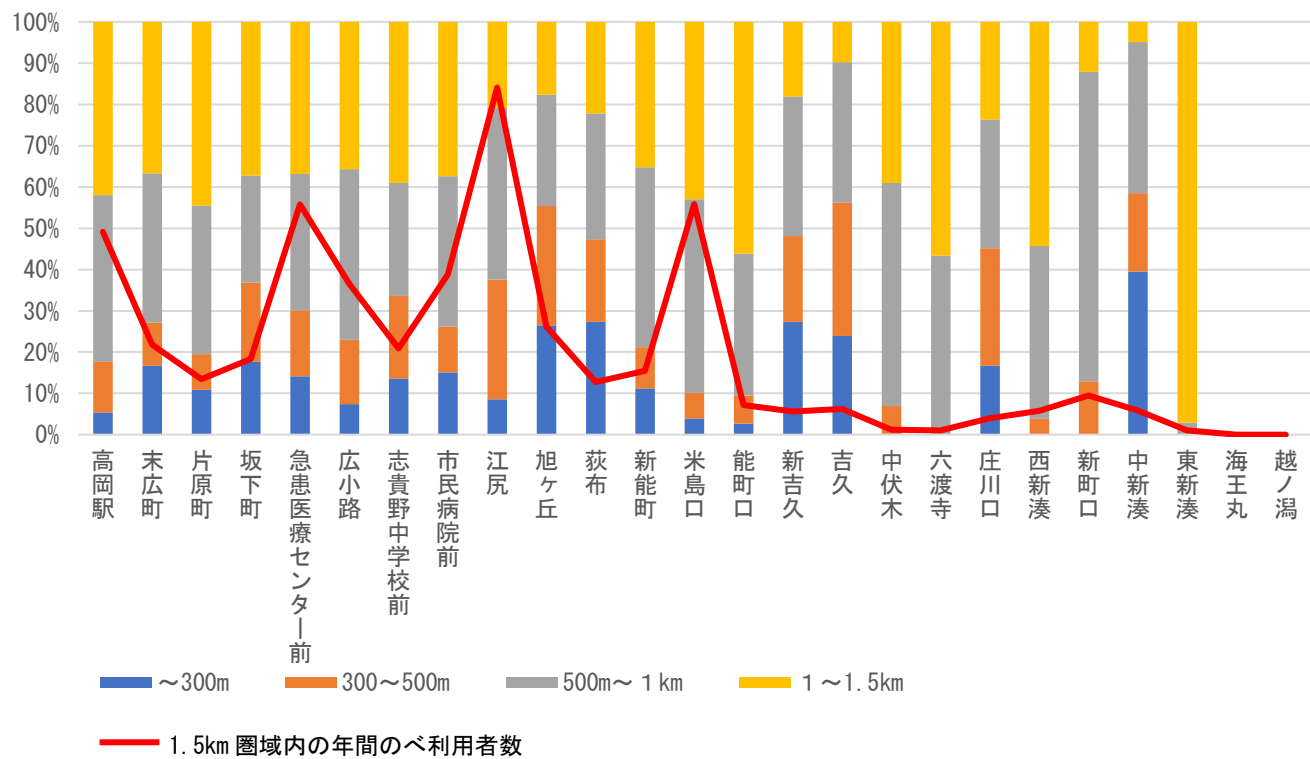
○電停の利用特性

【利用圏域（各電停の利用者の居住地まで）】

- 全体として 500m～1.5km 圏内においても一定の利用がある傾向。（運行本数が多く利便性が高いことが要因として考えられる）
- 高岡駅～市民病院の区間は比較的広範囲から利用されている傾向。
- 江尻～中伏木の区間は概ね 500m～1km 圏域からの利用割合が高い。
⇒市中心部に向かうにつれ、遠方からの利用者が増えている。

■ 電停別利用圏域内の利用者分布

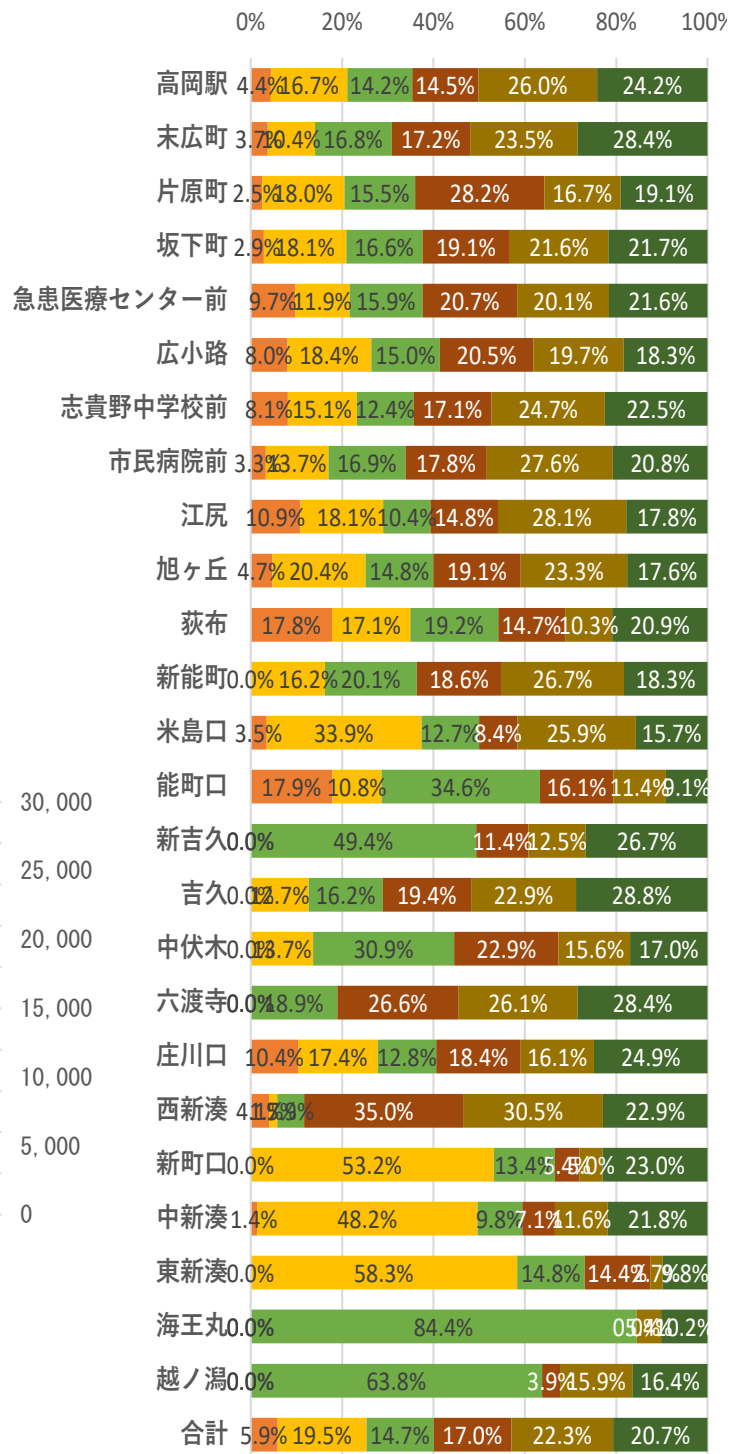
	1.5km圏域内の 年間のべ利用者数	利用圏域内の利用者分布			
		～300m	300～500m	500m～1km	1～1.5km
高岡駅	14,729	5.4%	12.2%	40.4%	42.0%
末広町	6,553	16.7%	10.5%	36.1%	36.7%
片原町	4,038	10.9%	8.6%	36.0%	44.5%
坂下町	5,500	17.7%	19.2%	25.9%	37.2%
急患医療センター前	16,742	14.1%	16.0%	33.0%	36.8%
広小路	10,976	7.4%	15.6%	41.4%	35.7%
志貴野中学校前	6,263	13.6%	20.0%	27.4%	39.0%
市民病院前	11,640	15.1%	11.1%	36.4%	37.4%
江尻	25,227	8.6%	29.0%	41.6%	20.9%
旭ヶ丘	7,849	26.5%	28.9%	27.0%	17.6%
荻布	3,819	27.3%	20.0%	30.5%	22.2%
新能町	4,634	11.2%	10.0%	43.6%	35.2%
米島口	16,750	3.9%	6.2%	46.9%	43.0%
能町口	2,146	2.7%	6.8%	34.3%	56.1%
新吉久	1,675	27.3%	20.8%	33.8%	18.1%
吉久	1,861	23.9%	32.3%	34.0%	9.8%
中伏木	363	0.0%	6.9%	54.1%	39.0%
六渡寺	313	0.0%	0.0%	43.4%	56.6%
庄川口	1,196	16.7%	28.4%	31.2%	23.6%
西新湊	1,727	0.0%	3.8%	41.9%	54.3%
新町口	2,858	0.0%	12.9%	75.0%	12.1%
中新湊	1,756	39.5%	19.0%	36.6%	4.9%
東新湊	321	0.0%	0.0%	2.9%	97.1%
海王丸	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
越ノ湯	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%



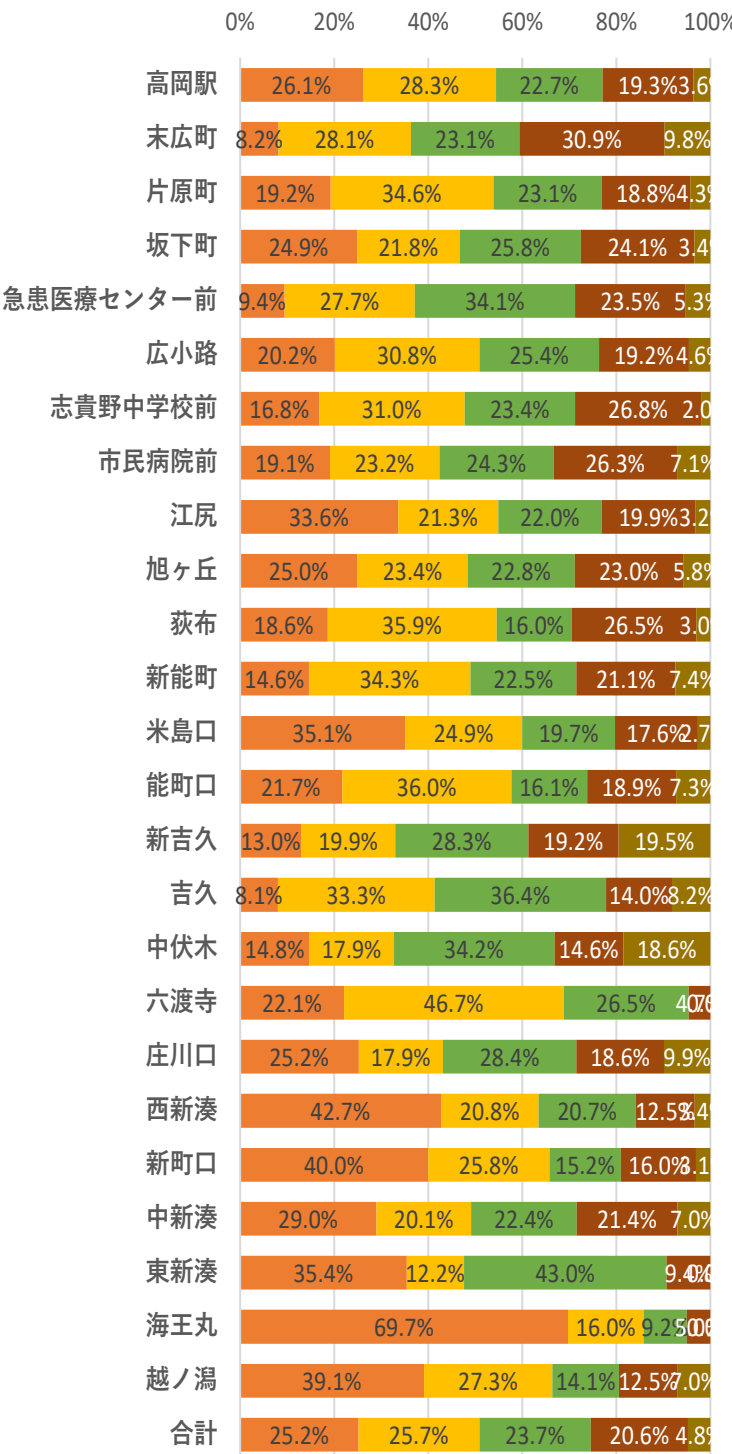
【利用特性】

- 万葉線全体では 60 代以上の利用が 43%と半数近くとなっており、ピーク時間外の 9 時～16 時台の利用については、約 5 割となっている。
⇒通勤利用だけでなく、高齢者を中心とした日常利用も多い。電停へのアクセスが容易な万葉線は地域に密着した交通であることが伺える。
- ＜利用の多い電停の特性＞
- 江尻は、各年代の利用が見られるほか、利用時間帯は 5～8 時台、9～16 時台が 3～4 割であり、通勤利用と高齢者の日用利用の両方の利用が想定される。
- 米島口は、比較的広範囲の利用があること、パークアンドライド駐車場に 14 台の利用があることなどから、パークアンドライドの推進に有効な駅だと考えられる。

■ 電停別利用者の年齢構成



■ 電停別利用時間帯の割合



20代 30代 40代 50代 60代 70歳以上 5～8時台 9～12時台 13～16時台 17～20時台 21～24時台